

健康革命新聞

平成17年7月発行

vol.7

発行者 下平 正文
 発行所 メタボリックエコシステム研究所(株)
 〒989-6117 宮城県古川市旭5丁目3-26
 フリーダイヤル 0120-201-546
 Fax 0229-24-2428
 E-mail takem@mw.biglobe.ne.jp
 URL http://www.goldkousan.com

始めませんか?

最新情報をお知らせする「健康革命」の最新号です。

※年費購読(12ヶ月)・・・3,000円
 ※1ヶ月・・・300円

お問合せ
 フリーダイヤル 0120-201-546

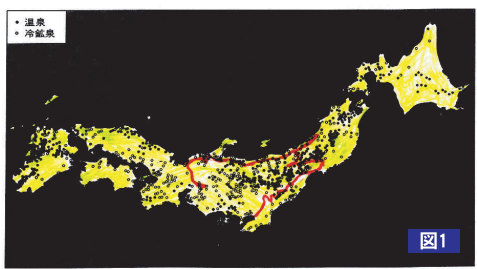
健康革命創建千夜一夜

温泉療養とミネラル健康法

健康医学情報センター
 医学博士 下平 正文



老いの細道 芭蕉温泉めぐりと竹島問題



元禄2年(1686)、芭蕉は5ヶ月間、約2,400kmにも及ぶ奥の細道の旅で3つの温泉地名を紀行文中に挙げています。福島県の飯坂温泉、宮城の鳴子温泉と石川の山中温泉です。

芭蕉の江戸から大垣までの旅程沿道には図のように多くの温泉地が広く分布しています。中でもみちのくのゆあみの郷は現代人にもたいへん親しまれ愛されています。古来湯治場では、合戦の負傷を癒やす野武士が気からすべり落ちて怪我したあわて猿と一緒に仲良く入浴している風雅な情景をユーモラスに描いた絵が残されています。

芭蕉も飯坂温泉の湯上り宿で雷雨に見舞われ、蚊に刺された様子で彼一流の「わびくさび」の筆づかいで述べています。さて、平泉中尊寺の探訪を終え、芭蕉が若手山を経て向かった鳴子温泉郷は開湯1,100余年の歴史を持ち、5つのいで湯で構成され、秋保温泉(仙台)、飯坂温泉(福島)とともに「奥州三湯」のひとつに数えられています。

温泉別温泉の療養効果

日本では温泉とはお湯の温度が34℃以上42℃未満とされ、42℃以上の高温泉、25℃〜34℃の微温泉、25℃未満の冷鉱泉と区別されています。また温泉はその成分、つまり泉質により、表に揚げるように分けられ、それぞれに固有の病気に對する療養効果が示されています。

その点、サンゴミネラルを中心として調整されているミネラル88の成分は温泉の効用に匹敵できるものとなっていると思われまます。その点、サンゴミネラルを中心として調整されているミネラル88の成分は温泉の効用に匹敵できるものとなっていると思われまます。その点、サンゴミネラルを中心として調整されているミネラル88の成分は温泉の効用に匹敵できるものとなっていると思われまます。

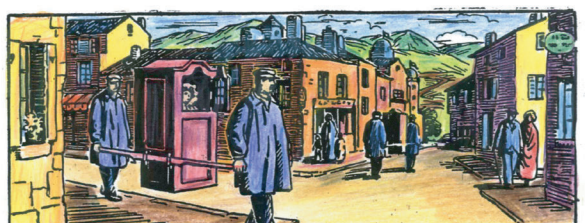
病種	泉質	単純炭酸カルシウム	苦味	硫黄	鉄	土類	食塩	放射能
胃腸過多	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
胃酸過多	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
胃腸減退	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
常習便秘	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
肝臓病	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
胆石症	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
運動機障害	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
婦人生殖器疾患	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
呼吸器疾患	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
糖尿病(非糖結)	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
糖尿病(糖結)	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
肥厚症の湯	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
痛風の湯	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
泌尿器疾患	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
皮膚疾患	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
腫瘍疾患	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
神経系疾患	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○
皮膚外科的疾患	弱酸性	○	○	○	○	○	○	○

表1

外国での温泉利用法

火山国で温泉の多いわが国では最近、浴用、観光のほか植物栽培、発酵醸造、養魚、養鶏など多目的の熱エネルギーへの利用が盛んになっています。日本と同様、火山国イタリア、ニュージーランド、アイスランドなどでも温泉を利用するクリン熱エネルギー利用は環境問題にも関連してその開発に力が注がれています。

フランスの中央部には、1,883mを最高峰とする中央山岳地帯があり、オーベルニュと呼ばれるこの地域とその周辺地区は恰好な温泉地に恵まれています。この地方では、癒し効果のない水ほど悪い水はない、といひ、20世紀のはじめこの地の温泉をPRした方、胃腸、肝臓、腎臓機能にすぐれない方々はどうぞ、我々の温泉地においで下さい。貴方は、そこで、きつと健康と生命の水をお飲みいただけること、でしょうとの宣伝文句が書かれています。



いたようです。図にはこの時代に流行した温泉風景が描かれています。France 1925より引用) その利用法も浴用のほか、飲用、吸入、うがいなどで、泉質別の効用が示されています。温泉療法は医療を目的として医師の指示に従って行われているほか、各湯治場には入浴、飲用上の注意事項なども詳しく湯治の効果を得るのに必要なものです。

ミネラルイオンの欠乏と胃潰瘍

温泉湧水ミネラルイオンの欠乏による胃潰瘍発生の臨床的研究について紹介することになります。ミネラルやビタミン摂取不足と消化性潰瘍(胃潰瘍と十二指腸潰瘍)発生の関係について、川崎医科大学の北昭一教授は次のような研究成果を発表されています。

消化性潰瘍患者42例にみられたミネラルおよびビタミン摂取不足(過剰)の例数 (川崎医科大学付属病院人間ドック検診による)

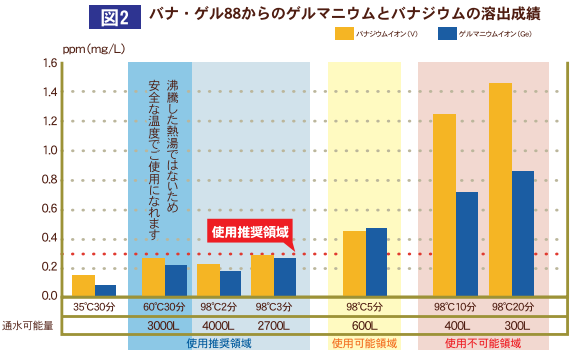
ミネラル/ビタミン	欠乏例数	過剰例数
カルシウム	22例	0例
鉄	9例	0例
食塩の摂りすぎ	0例	27例
ビタミンC	13例	0例

表2

この結果は図の通りで、食塩の摂り過ぎが最大で、例64.3%を占めていました。食塩の摂り過ぎは消化器性潰瘍のほか、高血圧、動脈硬化、脳卒中、腎臓病、肥満、糖尿病、ガンなどの生活習慣病の誘因となることが広く知られています。さて、不足ミネラルではカルシウムがトップで22例(52.4%)で、次に鉄は9例(21.4%)となっていました。しかも、重要なことには、これらミネラル不足患者の大部分が手術を必要とする難治性潰瘍であったことから、消化性潰瘍の予防には、ミネラルの重要性が強調されています。一般に消化性潰瘍はストレスが原因で発生することが多いのでカルシウムのような神経鎮静作用のあるミネラルと抗ストレス効果にすぐれるビタミンC(不足による潰瘍発症13例(31%)の併用は有用であると思われる)が共存する食品摂取は合理的であると言えます。

家で自分で自分に適した健康ミネラルウォーターを作った

太平洋の西端に浮かぶ美しい花づな列島の日本では、古くから動物たちが湯治する姿を見て、温泉に熊の湯、鶴の湯、鹿の湯などの名称をつけたものが多いようです。これらは、動物たちが教えてくれた病気の自然治癒法や健康増進法の原点となっています。こうした自然の恩恵も21世紀の現在では、先端科化の枠を集めた技法で、今や家庭内でそれを享受出来る時代となりつつあります。



パナ・ゲル88からのゲルマニウムとバナジウムの溶出成績

パナ・ゲル88はこれら2つの元素のユニークな協働作用によって、次のような独自の生物学的特徴を作り上げてゆきます。

- ① 酸化還元電位における協働作用
- ② 酸性体質に伴う糖尿病の改善に対する協働作用
- ③ コレステロールの除去、排泄促進における協働作用
- ④ 活性水素の吸蔵作用における協働作用

プロフィール

医学博士 下平 正文

1924年佐賀県に生まれる。広島陸軍幼年学校(42期)を経て、陸軍士官学校(57期)卒業後、第二次大戦(中国)に従軍。復員後東北大学理学部入学生。卒業後塩野製薬研究所細菌学研究室にて抗生物質の研究、台糖フレイザー品質管理部長、フナイ薬品研究所長として医薬品の研究開発に従事。この間徳島大学薬学部細菌学教室非常勤講師、フランス政府給費留学生として、パリ国立自然科学研究所(INSERM)細菌学研究室にて分子生物学の研究。医学博士。現在、健康医学情報センター所長。

著書 ■ 植物プランクトン健康法 食品研究社、ヒワ薬温灸法のすべて(清標) 梅の本、炭の本、湯の本など(美健ガイド社ホケッタン) 天然多元素ミネラルイオン、スピルリナと靈芝 枇杷葉烏梅のほか 健康医学および薬膳健康法に関する小冊子 健康医学情報文庫多数あり。

訳書 ■ フランス医学・自然科学関係書(書) 消化器病(二) H. Liando: 文庫科学社 生命の秩序(A. Lwoff) 共訳、みすず書房 細胞代謝とその調節(G. Cohen) 共訳、みすず書房 強さと脆さ(J. Houbouren) 共訳、TBS出版会

健康革命。手帳好評発売中!!

バナジウムとゲルマニウムの効用を動物学的な特性を基礎にして、最近話題を呼んでいるヒトの糖代謝、特に糖尿病に對する有用性と活性水素の吸蔵力増強作用や還元水としての特性について検討してきました。既に知られている必須微量元素の研究成績に比べ、バナジウムはその歴史は浅くても、今後未知な領域における新しい発見開発に伴い「神秘で若いミネラル」としての期待がもたれています。

富士山伏流水のパナ・ウォーターに見られる特徴のように、バナジウムは34種の他の多元素ミネラルとの共有によってその効用はさらに強化されてゆきます。それゆえ、88種にも及ぶマルチミネラルとの共存によってバナジウムは還元作用、活性水素の吸蔵力を更に増強させながら、新しい世紀の困難を伴う環境条件を克服して現代人の健康増進に貢献できる神秘の扉を開きゆくことになりましょう。

健康革命手帳 定価850円

